



徳島の留学生交流

International student exchange in Tokushima

留学生と地域社会との交流をめざして

か
ず
ら
ば
し

2 0 1 5

徳島地域留学生交流推進協議会

International Student Exchange in Tokushima

目 次

○ 寄稿

徳島県教育委員会	-----	1
----------	-------	---

阿南市国際交流協会	-----	3
-----------	-------	---

○ 留学生への支援事業	-----	4
-------------	-------	---

○ 留学生交流事業	-----	8
-----------	-------	---

○ 徳島地域の外国人留学生受入の現状	-----	16
--------------------	-------	----

○ 留学生の声

鳴門教育大学大学院学校教育研究科・領域教育専攻2年 孫 維嬌 （中国）	-----	18
--	-------	----

鳴門教育大学大学院学校教育研究科(教員研修留学生) ドラガナ ユキッチ （クロアチア）	-----	19
--	-------	----

四国大学文学部日本文学科3年 王 春盼 （中国）	-----	20
-----------------------------	-------	----

四国大学文学部日本文学科 3 年 馬 斯媛 （中国）	-----	21
-------------------------------	-------	----

徳島文理大学人間生活学部建築デザイン学科 1 年 李 炳旭 （韓国）	-----	22
---------------------------------------	-------	----

徳島工業短期大学自動車工業学科 1 年 グエン ミン ドック （ベトナム）	-----	23
--	-------	----

○ 留学生の声

阿南工業高等専門学校電気電子工学科5年

ボルドバートル フスレント (モンゴル) ----- 24

徳島大学総合科学教育部博士前期課程 1 年

王 曉玉 (中国) ----- 25

徳島大学先端技術科学教育部博士後期課程 3 年

崔 允禎 (韓国) ----- 26

徳島県教育委員会における国際交流

徳島県教育委員会

教育基本法には、「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと」が教育の目標の一つに挙げられています。

徳島県教育委員会でも、海外からの研修団体や教育旅行を積極的に受け入れ、異文化についての理解を深め、国際性を養うなど国際教育の推進を図っています。

また、平成25年3月に策定した徳島県教育振興計画（第2期）において、「新たな価値を創り出し未来へ活躍する人を育てる教育の実現」を基本方針の一つとし、グローバル化に対応した教育を推進しているところです。

今年度は、グローバル人材の育成を目的に、

- ・小学生対象に初歩的な英語をベースとした「ALTとともに徳島を学ぶデイキャンプ」
- ・中学生対象に基礎的な英語をベースとした「ALTや県内留学生とのイングリッシュキャンプ」
- ・高校生対象にハーバード大学等海外大学生と交流し、実践的な英語と多様性を学ぶ

1週間の疑似留学である「徳島サマースクール」と各年代に応じた事業を実施し、国際交流の機会の創出にもなっています。

また、多くの県立学校が海外校とパートナー協定を締結し学校間交流を行っていますが、本県教育委員会も、本年7月にドイツ・ニーダーザクセン州文部省と、9月には台湾・新竹市教育処と教育交流に関する協定を締結し、今後、この協定に基づき学校間交流を発展させるなど、国際交流を一層積極的に図ることとしています。

さて、本年11月にドイツ・ニーダーザクセン州ブリンクシュトラーク職業学校訪問団が徳島科学技術高校と学校間交流を実施したところですが、今回の交流では両校生徒が板東俘虜収容所をモチーフとして共同製作した「交流記念プレート」を鳴門市ドイツ館に設置しました。

ご存じのとおり、板東俘虜収容所は、国、宗教、言語、世界観は違っても、日本人とドイツ人がお互いを尊重し、お互いの文化を受け入れた、まさに「異文化共生の特別な象徴」であることから、建設後約100年を経過する今、改

めて、国際理解を次世代に伝えるため製作したものです。

今後も、県内の児童生徒が、人々を暖かく迎え入れる精神が根付くふるさと徳島への愛情と誇りを持ち、国際交流を通じて多様な価値観の理解と国際的な視野を持つグローバル人材の育成を図っていくこととしています。



徳島サマースクール
(海外大学生による少人数セミナー)



交流記念プレート

阿南工業高等専門学校短期留学生との交流

阿南市国際交流協会

阿南高専短期留学生との交流は、一年に何度かあり、その中で一番のメインは、バス研修になります。

今年は、昨年予定をされていて台風の影響で取り止めになっていた所への研修を計画し、実現することが出来ました。また、「とくしま発見」と題して、藍の館資料館で藍について学び、その後に藍染体験をしました。各自6パターンから好きな技法で藍染に挑戦しました。出来上がりはそれぞれ違って、世界で一枚の素敵なハンカチに仕上がりました。

体験後は、偶然にも琵琶の演奏と体験ができ有意義な時間を過ごせました。午後からは、霊山寺・大麻比古神社を参拝しました。

今回の交流は、国は違えども同じ時間を共有出来た良い機会となりました。



○留学生への支援事業

1 留学生に対する奨励事業

徳島地域留学生交流推進協議会では、留学生の一時帰省旅費や、特に臨時の資金を必要とする場合に次の表の範囲内で貸付を行っています。貸付を希望する人は所属大学の留学生担当係を通じて事務局まで申し込んでいただくことにしています。

	貸 付 金 額	備 考
貸 付	10万円以内	6ヶ月以内に一括又は分割返済

2 ホストファミリープログラムの実施

徳島地域留学生交流推進協議会では、(公財)徳島県国際交流協会と共催し留学生をホストファミリーの家庭へ受け入れ、家族ぐるみの交流を行うことにより互いの文化の交流を深めるとともに、留学生が疎外感を感じることなく徳島での生活をより快適に、有意義に過ごせるよう支援することを目的として実施しています。このプログラムでは、宿泊を伴うホームステイと宿泊を伴わないホームビジットがあります。

ホストファミリーの紹介を希望する人は所属大学等の留学生担当係を通じて事務局まで申し込んでください。

また、ホストファミリーとなっていただける方を広く募集しています。申し込み方法等の詳細は(公財)徳島県国際交流協会又は事務局までご連絡ください。

3 生活用品の無償提供

徳島地域留学生交流推進協議会では、各国際交流団体の協力を得て、交流団体の会員等から生活用品を無償提供していただき、各大学等の留学生を対象とし配布することとしています。

4 留学生のための奨学金等

名称	給付額	人数(平成26年度)	備考
徳島大学国際教育研究交流資金	月額30,000円又は 50,000円	徳島大学 10名	
藤井・大塚国際教育研究交流資金	月額30,000円又は 50,000円	〃 25名	
徳島大学若葉会奨学基金	年額200,000円又は 150,000円	〃 3名	
徳島大学卒業生同窓会推薦留学生奨学金	月額100,000円	〃 2名	
ロータリー米山記念奨学会奨学金	月額140,000円又は 100,000円	〃 5名	
公益信託三木武夫国際育英基金	月額25,000円	〃 1名	
財団法人日揮・実吉奨学会第2種給与奨学金	年額500,000円	〃 2名	
日本国際教育支援協会(JEES)一般奨学金	月額30,000円	〃 1名	
ドコモ留学生奨学金	月額120,000円	〃 1名	
大塚敏美育英奨学財団	年額2,000,000円又は 1,500,000円	〃 2名	
佐川留学生奨学財団	月額100,000円	〃 1名	
藤井国際奨学財団	月額50,000円	〃 1名	
徳島ゾンタクラブ	年額100,000円	〃 1名	
上原記念生命科学財団	月額150,000円	〃 1名	
鳴門教育大学私費外国人留学生奨学金	年額30,000円	鳴門教育大学 17名	
大学間交流協定に基づく交流学生奨学金	月額5,000円	〃 6名	
鳴門ゾンタクラブ外国人女子奨学金	年額200,000円	〃 1名	
公益信託三木武夫国際育英基金奨学金	年額300,000円	〃 1名	
公益信託三木武夫国際育英基金奨学金	月額25,000円	徳島文理大学 1名	
授業料免除	年額588,000円(1年生)	徳島工業短期大学 5名	70%免除
	年額616,000円(2年)	〃 5名	70%免除
徳島工業短期大学外国人留学生奨学金	88,000円(1回のみ)	〃 1名	国家試験合格者

5 その他の支援事業

団体名	事業内容
徳島大学	日本語補講 日本文化・企業見学旅行 留学生スキー旅行 新入学留学生ガイダンス、徳島東・西警察署による交通安全等オリエンテーション 生活支援(留学生住宅総合保障の加入金補助、渡日一時金の支給) 交換留学生への自転車の貸出
鳴門教育大学	外国人留学生を支援する基金－火災・風水害の被害、病気・事故による入院への支援、自転車購入費用補助、JLPTの受験料補助 日本語補講(入門クラス、初級クラス、中級クラス、上級クラス)、日本語能力試験対策講座 外国人留学生学外研修(日帰り)－文化施設訪問、体験学習等 外国人留学生学外研修(1泊2日)－県外での日本文化体験、工場見学等 日本文化体験－折り紙、日本の歌、染色、ちょんかけごま、書道、大正琴、着付、茶道 外国人留学生新入生オリエンテーション 鳴門警察署による交通安全オリエンテーション 教員研修留学生研究発表会・修了式(本学での1年間の研究成果の発表)
四国大学 四国大学短期大学部	留学生オリエンテーション(資格外活動、各種奨学金等に係る手続きの説明) 生活及び進路相談
徳島文理大学・ 徳島文理大学短期大学部	外部講師による留学生に対する日本語授業、日本語能力試験対策講座(週1～2回)
徳島工業短期大学	生活用品(冷蔵庫、洗濯機、自転車)の貸与 入学祝金の支給 留学生後援会からの誕生祝金の支給
阿南工業高等専門学校	留学生に対する日本語補講 留学生に対する日本事情補講 留学生に対する数学・専門科目補講 留学生に対する生活必需品購入指導 留学生(短期留学生)に対する英会話指導
(公財)徳島県国際交流協会	日本語教室 外国人生活相談 外国人子育てサロン(託児つき日本語教室) 多言語情報提供(生活情報誌、外国図書、新聞、雑誌ほか) 多言語電話窓口相談 防災意識の啓発(防災ハンドブック配布、出前講座開催ほか)
(一社)徳島市国際交流協会	談話室運営(Free Wifi、ケーブルテレビ) 生活用品貸出 情報提供(ニュースレター、図書、新聞) 外国人相談支援窓口の開設 語学講座(日本語・英語・仏語)の運営

5 その他の支援事業

団体名	事業内容
小松島市国際交流協会	生活物資支援 日本語教室の運営(夜間開催) 国際交流みかん狩り 託児付き日本語教室の開催(インターナショナル子育てサークル ももたろう) 外国人向け和食料理教室
阿南市国際交流協会	留学生のホームステイ先を提供 外国人との交流(オーストラリアの教員の視察団との交流等) バス研修の誘い 日本語教室の開講 料理教室を開催
徳島ゾンタクラブ	留学生への生活用品の提供
徳島ユネスコ協会	留学生への生活用品の提供

○留学生交流事業

平成27年度交流事業

主催団体等名	実施時期	事業名	事業の概要
(公財) 徳島県国際交流協会	7月	外国人による日本語弁論大会	在県外国人の率直な意見を聞くとともに、質疑応答などを交えて県民との交流を図る。(徳島地域留学生交流推進協議会共催)
	8月	阿波おどり交流事業(国際交流連・あらそわ連)	阿波おどりを外国人に紹介するとともに県民との交流を図る。(徳島地域留学生交流推進協議会共催)
	9月	防災センター・スタディ・ツアー	在住外国人を対象に防災センターでの災害疑似体験、南海トラフ巨大地震をはじめとした防災意識啓発を図る。
	10～11月	ホームステイ・ホームビジットプログラム	日本の家庭生活を味わってもらうことにより、日本の文化に触れ、異文化理解や相互理解を図る。(徳島地域留学生交流推進協議会共催)
	通年	国際理解支援講師派遣事業	在県外国人等を講師として小・中・高等学校等に派遣し、青少年への国際理解を深める。
(一社) 徳島市国際交流協会	7月	徳島市内スタンプラリーと焼きそばランチ	国際交流の集い(徳島市民遺産のオリエンテーリングと焼きそばパーティー)
	8月	阿波踊り	国際交流の集い
	10月	剣山登山	国際交流の集い(西日本第二の高峰、剣山への登山にチャレンジ)
	11月	今治へ行こう	国際交流の集い(アサヒビール工場・今治造船・タオル美術館の見学)
	12月	年忘れボーリング大会	国際交流の集い
	2月	新春・国際交流パーティー	国際交流の集い(立食、各国演芸、のど自慢大会、ダンス、ビンゴゲーム等)
小松島市国際交流協会	11月	国際交流みかん狩り	留学生と市民との交流(みかん狩り、交流パーティー)
阿南市国際交流協会	4月	海外からの教員との交流	オーストラリアの教員の視察団との交流(中学校見学、市長表敬訪問等)
	5月	通常総会・講演会	留学生及び在住外国人と市民の交流(世界をみた体験談)
	10月	バス研修	留学生及び在住外国人と市民の交流 藍染体験・霊山寺・大麻比古神社歴史散策
	11月	料理教室	留学生と市民の交流(カンボジア料理を教わりながら交流)
	12月	餅つき会	施設の子ども達との交流
	1月	新年会	留学生とAIA会員との交流
北島町国際交流協会	5月	留学生歓迎パーティー	留学生と住民との交流
	11月	外国料理講習会	料理を通じての国際交流
徳島YMCA	7月～8月	ICCPO(インターナショナルキャンプカウンセラーin大阪)	韓国・香港・台湾・オーストラリア・コロンビアの青年7名がYMCA阿南国際海洋センターにて、キャンプカウンセラー体験を行い、県内外の多くのキャンパーおよび、学生ボランティアカウンセラーとの交流と研修を行った。
徳島ゾンタクラブ	12月	インターナショナルナイト	留学生を招待して交流

○留学生交流事業

平成27年度交流事業

主催団体等名	実施時期	事業名	事業の概要
徳島大学	不定期	日本文化体験	日本文化・企業見学・スキー旅行(12月)
	7月, 1月	ホームステイ・ホームビジット	留学生が日本の家庭を訪問し, 日本語による会話を通して日本の文化や慣習を体験する。
	不定期	地域の小学校・高校訪問	留学生が地域の学校を訪問し, 日本文化を共に学んだり日本語で自国の文化を紹介し, 自国の遊びと一緒に学んだりする。 また英語による同様の活動も実施している。
	11月	多文化体験交流会	徳島大学大学祭において留学生, 日本人学生及び地域住民との交流会
	7, 11月	研修旅行	徳島の現在と伝統を日本人学生らとともに学ぶ。
	3月	外国人留学生の卒業・修了を祝う会	卒業・修了予定の留学生と教職員等との交流懇談会
鳴門教育大学	6月	国際交流親睦パーティー	留学生と大学院生, 学部生, 教職員との交流会
	6月	鳴門第二中学校(国際交流集会)	生徒と留学生の国際交流
	10月	イングリッシュ・キャンプ	鳴門市の小・中学生と留学生の交流
	6・10月	城西高校(国際交流活動)	生徒と留学生の国際交流
	平成27年10月～平成28年1月	外国青年と小学生の国際交流活動	鳴門市小学生と本学留学生の国際交流学習会
四国大学 四国大学短期大学部	5月	留学生歓迎会	学生による留学生を歓迎する会
	随時	留学生面談会	生活及び進路相談、近況報告
	随時	イングリッシュ・ランチ	留学生と日本人学生が昼食時に英会話で交流
	随時	チャイニーズ・ランチ	留学生と日本人学生が昼食時に中国語で交流
	随時	中国セミナー	留学生が留学予定の日本人学生に異文化・学生生活について紹介
	8・9月	外国人留学生実地見学	日本事情の実地見学・研究用資料の収集等
	10月	ハロウィンJack-o'-Lantern作り隊	Jack-o'-Lanternを作りながら交流
	11月	留学報告会	今夏海外に留学した学生と留学生が報告し合い交流
	12月	クリスマスパーティ	クリスマスケーキのデコレーションを通じて交流
	1月	春節祭及び送別会	中国の正月について留学生と交流及び送別会
徳島文理大学 徳島文理大学短期大学部	4月	徳島文化研修	徳島, 香川キャンパスで受け入れている留学生, 姉妹校からの春季受入交換留学生約20名に対し, 徳島文化研修を実施 美馬うだつの町, 鳴門渦の道, 霊山寺の見学, 藍染体験など
	4月	新入生歓迎懇談会	留学生及び国内離島等出身の学生に対し, 学園理事長主催で, 歓迎懇談会を開催し, 懇親を深めた。
	9月	香川文化研修	徳島, 香川キャンパスで受け入れている留学生, 姉妹校からの秋季受入交換留学生約10名に対し, 香川文化研修を実施 栗林公園, うどん打ち体験, 金比羅宮などを訪問
徳島工業短期大学	4月	留学生歓迎昼食会	留学生の来日を歓迎する会
	4月	研修旅行	留学生と日本人学生相互の交流(海遊館)
	6, 11, 1月	留学生誕生会	留学生の誕生日を祝う集い
	9月	研修旅行	留学生と日本人学生相互の交流(勝浦町)
阿南工業高等専門学校	5月	研修旅行	留学生とチューターが共に日本の歴史・文化を体験する旅行(広島)
	7月	阿南市・阿南市国際交流協会と本校との懇談会	阿南市職員, 阿南市国際交流協会役員と本校教職員・留学生との懇談会
	7・10月	防災研修	徳島県国際交流協会の職員による防災研修
	11月	阿南高専蒼阿祭	阿南高専の文化祭に参加
	12月	四国地区高専総合文化祭	国立高専四国総合文化祭に参加し, 留学生コーナーで自国の地理や文化について紹介

各国際交流団体の事務局所在地

団体名	事務局所在地	連絡先電話
(公財)徳島県国際交流協会	徳島市寺島本町西1-61 クレメントプラザ6階	088(656)3303
(一社)徳島市国際交流協会	徳島市新蔵町1-88	088(622)6066
小松島市国際交流協会	小松島市横須町1-1 小松島市役所内	0885(32)2191
阿南市国際交流協会	阿南市向原町天羽畠103-1 西野建設(株)内	0884(44)6652
北島町国際交流協会	板野郡北島町中村字上地23-1 北島町役場内	088(698)9801
徳島ユネスコ協会	阿南市富岡町今福寺49-2 河内順子様方	090-1573-4555
国際ソロプチミスト徳島	徳島市徳島町3丁目77 寺澤恵子様方	088(654)7382
徳島中央ロータリークラブ	徳島市仲之町3丁目27番地6号 エムエフビル1F	088(626)1700
徳島YMCA	徳島市新町橋2丁目29-1 蔵本ビル1階	088(626)0035
徳島ゾンタクラブ	徳島市一番町3-16-3 阿波観光ホテル内	088(622)5161

交流風景

徳島県国際交流協会



日本語弁論大会



阿波おどり



防災センター・スタディツアー

徳島県国際交流協会



ホームステイ・ホームビジット

四国大学



学生による
留学生歓迎会



ランタン作り



クリスマスパーティー

徳島文理大学



新規来日留学生文化研修(徳島)



新規来日留学生文化研修(香川)

徳島工業短期大学



研修旅行(海遊館)



研修旅行(上勝町)

阿南工業高等専門学校



とくしま異文化キャラバン隊の事業に参加(日和佐八幡神社秋祭り)

徳島大学



研修旅行(人と防災未来センター)

研修旅行(藍の館)

徳島大学



多文化体験交流会

徳島大学



多文化体験交流会



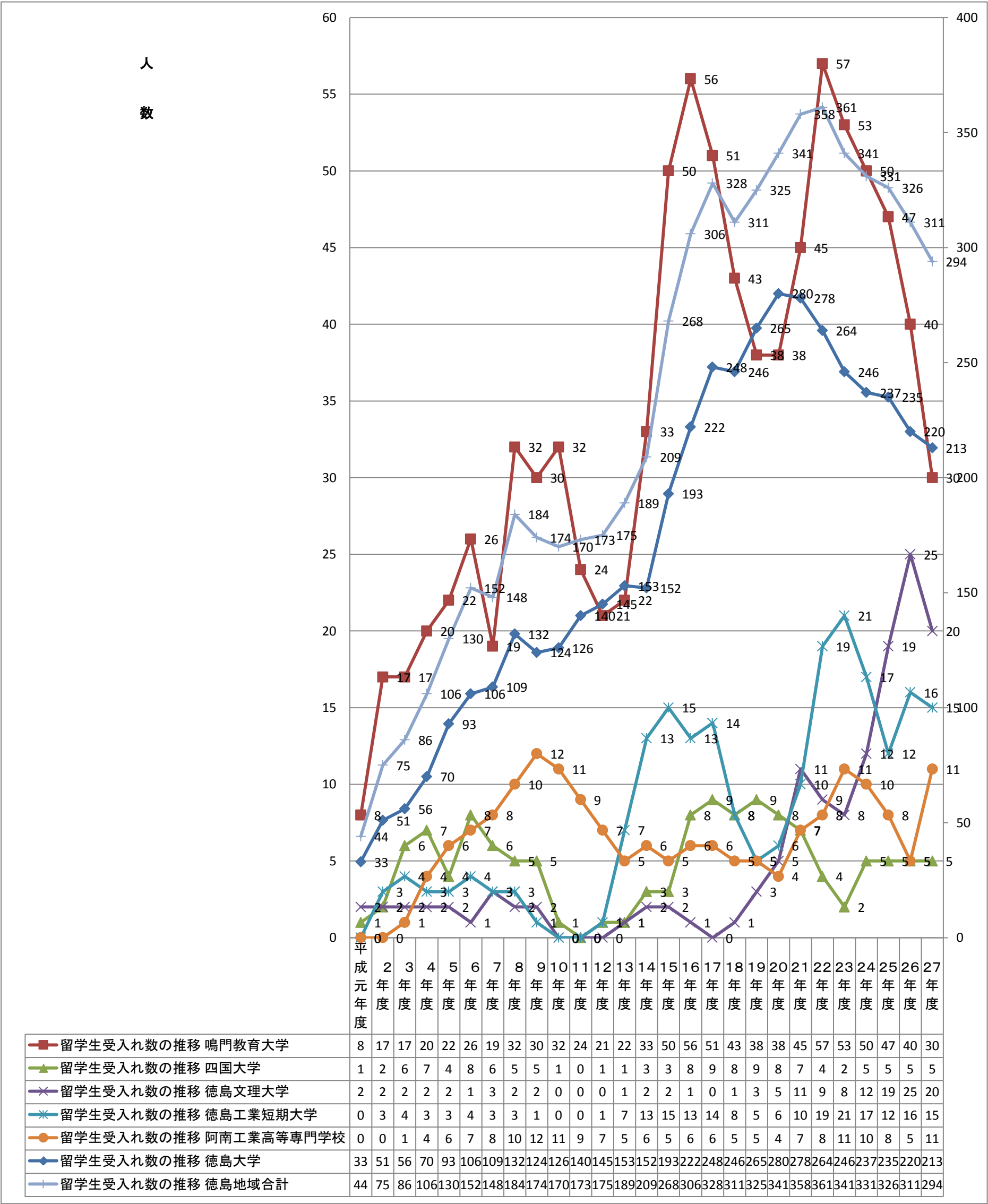
日本文化・企業見学旅行

: 姫路城

: 三菱自動車工場水島製作所

○徳島地域の外国人留学生受入れの現状

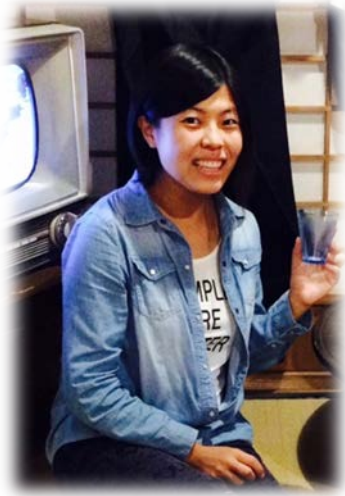
1 留学生受入れ数の推移



2 出身国・大学等別の留学生数

(平成27年10月1日現在)

国・地域		国立大学		私立大学		私立短期大学			高専	合 計
		徳島大学	鳴門教育大学	四国大学	徳島文理大学	四国大学短期大学部	徳島文理大学短期大学部	徳島工業短期大学	阿南工業高等専門学校	
アジア	中国	93	22	5	3			5		128
	韓国	8			8					16
	台湾	9	1		7				1	18
	マレーシア	25								25
	インドネシア	11							2	13
	バングラデシュ	11								11
	ベトナム	8			1			10	2	21
	インド	3								3
	ネパール	1								1
	モンゴル	20							1	21
	タイ		4						4	8
	スリランカ	1								1
	カンボジア								1	1
	フィリピン	1								1
	ラオス	2								2
中近東	イエメン		1							1
	シリア	1								1
ヨーロッパ	スウェーデン	3								3
	クロアチア		1							1
	ポーランド	2								2
	ポルトガル				1					1
アフリカ	エジプト	4								4
	ウガンダ	1								1
	エチオピア	1								1
	モロッコ	1								1
	ケニア	1								1
	ブルキナファソ	1								1
北米	カナダ	2								2
中南米	ブラジル	1								1
	メキシコ	1								1
大洋州	ツバル	1								1
	パプアニューギニア		1							1
合計		213	30	5	20	0	0	15	11	294



私が感じた日本

鳴門教育大学

大学院学校教育研究科・領域教育専攻 2 年

ソン イキョウ
孫 維嬌

中国

私は中国からの留学生、孫維嬌である。現在、鳴門教育大学では、日本語教育を勉強している。今日は挨拶、笑顔という二つのキーワードで私が感じた日本を皆さんに紹介したい。

挨拶について。日本語の中には挨拶の言葉が多いと感じた。どんな国でも、こんにちは、さようならぐらいの言葉があると思うが、日本では初対面の人と会った時はお互いに「初めまして、どうぞよろしくお願いします」と言う習慣がある。そのような言い方はもう決まり文句になっているみたい。また、ご飯を食べる前に「いただきます」と言い、食べ終わったら「ご馳走様でした」と言う習慣もある。更に、職場で仕事仲間とすれ違ったらお互いに「お疲れ様です」と声をかける。他人にお願いする時、最後に「よろしくお願いします」を付けて相手に頼む。そのような言葉はどんな国でもあるものではないと思う。言葉の使い方から見ると、日本はとても礼儀正しい国だと私は考える。

笑顔について。笑顔は人間社会において重要なコミュニケーションツールの一つである。日本人はいつも笑顔で人と接することに私は気付いた。特にサービス業で店員さんが元気な笑顔で接客するのは一般的である。どんな店に入っても必ず店員さんからの挨拶が聞こえる。店員さんの笑顔も仕事評価の一つになると聞いた。お客さんは店員さんの笑顔を見てこの店の雰囲気がいいなと思うと心地よく買い物ができる。そしてお店のイメージもアップする。会社でも、学校でも日本人はいつもにこにこして人と接している。できれば相手にいい印象を残そうとする。私は「この世界を明るくさせるのは太陽の光ではなく、人間の笑顔だ」と聞いたが、日本ではこのことが本当だと強く感じた。

留学生の私は日本の大学で知識を学ぶだけではなくて、普段の生活でも色々なことを学べる。これからもこの国の素晴らしさを発見していきたい。そして、その素晴らしさを自分の国に伝えていけたらいいなと思う。

日本の留学生活

鳴門教育大学

大学院学校教育研究科（教員研修留学生）

ドラガナ ユキッチ
DRAGANA JUKIC

クロアチア



私はクロアチアからの留学生です。昨年 10 月に日本に来ました。

日本へ来る前、私は「日本人は自分に きびしく、勉強ばかりする人々」だと思っていました。それで、クロアチアの友達「中国か韓国 へ行った方がいいよ。」と私にすすめました。そのとき私はちょっと迷っていました。「日本の生活はたいへんだし、友達もいないし、それに食べものも美味しくなかったら、どうしよう・・・。」と思ったからです。でも日本へ来たら、その心配はだんだんなくなっていきました。それは、日本人が優しくて、食べ物もおいしくて、友達もたくさんできたからです。

クロアチアと日本との大きな違いは、「外食」をすることです。クロアチア人はめったに外食しません。クロアチア人の家族は、うちで一緒に晩ごはんを作って食べることがほとんどです。でも、日本人はよく外食します。また、お店の前にたくさんの人がならんで待っているのを見たときには、とてもびっくりしました。どうして日本人はいつもならぶのが平気なのか、今でもわかりません。もしクロアチア人だったら、列にならばないで、すぐほかの店へ行きます。

他にも、日本ではいろいろな面白い経験がありました。去年の 10 月に初めておへんろをしました。クロアチアでは神社やお寺がないので、私にとっておへんろは特別な経験でした。そのときは、まだ日本語 がわからなかったので、いろいろと説明をしてくれても、全然わかりませんでした。でも日本人と留学生 が一緒に目をとじて静かにおいのりをしたとき、とても心が静かになりました。おせったいをうけた ときには、心がゆったりして、ほんとうに幸せ でした。

また私にとって大切な経験がもう一つあります。それは徳島の阿波踊りです。私はこのことを一生忘れることはないです。たいこの音を聞くと体中が元気になりました。女性のおどりこは一日中おどっても化粧がくずれません。それに、一日中おどってつかれているのに、いつも笑顔でおどっているのが印象的でした。そ

れを見て、とても面白いなと思いました。

最近は帰る日がだんだん近づいて、少しずつ寂しさが溢れてきています。国へ帰るまでにもっともっと徳島でいろいろな経験をして、思い出を作りたいと思っています。



ありがとう徳島

四国大学

文学部日本文学科 3 年

オウ シュンハン

王 春 盼

中国

あなたが初めて徳島に来たなら、ここは静かな場所という印象が残るかもしれません。私は最初に来た時、そう思いました。たしかに、賑やかで世界でも有名な東京、大阪に比べて、徳島はそれほど有名ではないかもしれませんが、特有の美を持っているように感じます。徳島で生活を始めて、もう半年以上経ちました。心からこの美しい徳島が好きになりました。

「眉のごと雲居に見ゆる阿波の山」と万葉集にも詠まれた眉山、世界三大潮流の1つで、世界自然遺産登録を目指す豪壮な鳴門の渦潮、「お遍路さん」出発の第一番札所霊山寺とか、鳴門に古くから伝わる伝統工芸大谷焼、美味しい徳島ラーメンとか、すべて特別な記憶になりました。今紹介したこと以外にも、私が気に入っているのは自然豊かな徳島で見える夕焼けです。空が美しい赤色に染められていて、非常に印象的です。この美しい夕焼けを見ていると、落ち着いた気持ちになります。

ここで日本人の友達もできました。彼らは非常に私に関心を持って、私を励ましたり、応援してくれたりしてくれるので、非常に感動しています。私はこれらが自分の原動力として、ずっと努力しています。2016年の二月に中国へ帰る予定で

すが、この美しい徳島を忘れられないと思います。

この素敵な徳島に、ありがとうと言いたいです。

日本を歩く

四国大学

文学部日本文学科 3 年

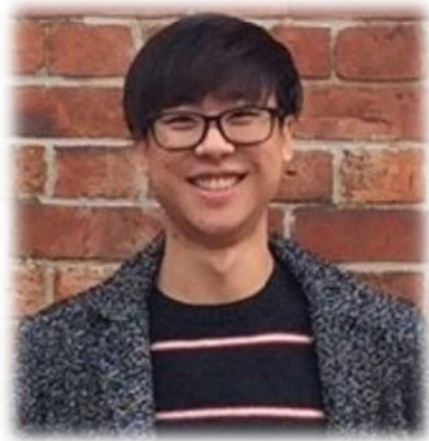
バ シェン
馬 斯媛 中国

日本に留学できるのはありがたい機会で、言語はもちろん、私にとって実地に見聞したほうが日本を深く理解するようになると思っている。この機会に、時間があるごとにあちこちへ見に行ったり、旅行したりして異文化の衝撃を身近に体得した。旅行していたとき、多くの日本人を通して、日本人と日本人の間の差異さえを見つけることができる。なぜかという、東京の人はエスカレータに乗ると、ほとんど左側に立つ。それに対して、大阪人は意外に右側だ。初めて気づいたとき「これは一体なぜだろう」と思わず、噴出してしまった。やはり実際に見に行かないと、このような小さい違いに気づくことができないだろう。

ところで、人とのコミュニケーションは大切だ。コミュニケーションによって、人々の考えや見方を納得できる。文化の差異のため、時々誤解が起こりやすいかもしれない。最初は授業を受ける時、いつもドリンクを机の上に置くことが多かった。日本ではそれは無作法だが、中国ではよく見られることだ。外国に生活するには、郷に入っては郷に従うべきだ。また、好奇心を持って、周囲のことや人に関心を持てればいいことばかり見つかることができる。私は何度もバスで帰った時、いつも元気そうなドライバーがいて、わたしが降りた際に、「ありがとうございます、帰るとき気をつけてくださいね。」とにこにこして言ってくれた。このような生活に対しての積極的な態度は他人にも心地よくさせるだろう。

残りたった二ヶ月くらいの留學生活だから、いろいろな経験をし、この間でずっと成長できる。これからも頑張りたいと思っている。





徳島で心豊かに暮らすこと

徳島文理大学

人間生活学部建築デザイン学科 1 年

イ ビョンウク
李 炳 旭

韓国

私は、徳島文理大学人間生活学部建築デザイン学科 1 年に在学中の李 炳旭と申します。日本に来て 8 ヶ月になりました。

私が今暮らしている徳島は、四国にあり、大阪から高速バスでおよそ 3 時間余りかかります。

徳島は、阿波踊り、スダチ、徳島ラーメンなどで有名です。

徳島に来て驚いたことがあります。一つ目は、徳島の田舎さです。来る前は、大阪のすぐ隣だから、大阪とあまり変わらないだろうと思っていましたが、大阪から徳島へ向かう時、高層ビルは段々少なくなるし、増えていくのは畑や田んぼなど、田舎の風景でした。

そして、二つ目は、徳島の方言です。日本にも方言があると知っていたので、韓国で少し勉強してきましたが、本場で聞く方言はまったく違っていました。徳島の方言を「阿波弁」というそうですが、徳島の大学で授業を受け、友達とスムーズに会話するためには、阿波弁を練習しなければならないと思いました。そして、少しずつ話してみても、今では方言を使うのが楽しいです。

私は、韓国ソウルで生まれ育ちました。そのため、どうしても徳島での生活をソウルのような大都市と比べてしまいます。アパートの周りに広がっている田んぼやタクシーも電話で呼ばないと来ないなど、最初は少し戸惑いもありました。しかし、時間が経つにつれ、感動的なこともたくさん体験しました。例えば、真夏の夜、田んぼから聞こえてくる蛙の声、風が吹いたら漂ってくる稲のにおい、近所の幼稚園から聞こえる子供たちの笑い声、そして、秋の夜、お月様が光を落とす時の影は、初めて見て感動しました。これらは、今までソウルでは見たことも、聞いたこともありません。

何度もいって失礼かもしれませんが、私にとって、徳島は田舎です。しかし、この間韓国に一時帰国した時、周りの人たちから、「日本に行って顔色が良くな

ったね！」と言われました。おそらく、忙しい大都市の暮らしから、毎日自然あふれる徳島に来て、心が豊かになったからかもしれません。

大阪と東京のような大都市は、観光地として、また、留学先としても多くの人に知られ、有名ですが、徳島のような地方都市が日本のほとんどを占めていることから、私はここ徳島が、日本の本当の良さを経験できる素晴らしいところだと思います。

第2の故郷徳島

徳島工業短期大学

自動車工学科1年

グエン ミン ドック

NGUYEN MINH DUC

ベトナム



小さいころから自動車のことが好きでした。しかし、高校を卒業した時点ベトナムで自動車がまだ発展していなかったのもので、親の願望どおり大学で電気電子工学科を選びました。大学を卒業した後将来の仕事は自分の好きな仕事をしたいと思って、世界で自動車に関する最高技術を持っている日本国に留学したいと思いました。

日本へ来て一年半神戸で日本語を勉強してから、やっと徳島工業短期大学に入学できました。私にとって神戸は日本の初めての印象ですが、徳島へ来るとまた新しい感覚を覚えました。“電車でもなく、しかも短い列車”とか“ここは橋が多い”とか“自転車に乗っている人が多い”など様々な思いが出て来ました。徳島での生活に慣れて来るに従ってその質問が理解できるようになり、徳島はいいところで住みやすいと思うようになりました。自転車は健康に良くて、燃料代がかからない、便利な車両と思いますので今、自分が毎日楽しみに自転車に乗って通学しています。

徳島の景色は自然が多くてきれいな所だと思います、川もあるし、山もあるし、海もあります。特に山の方の道が素晴らしい景色だと思います。野菜と魚が安く美味しい、各地によって様々な特産があります。私は徳島での一番好きなことは阿波踊りです。簡単な踊りでも視聴者に強烈な感情を伝えることができます。

お年寄りも子供もみんな笑顔で踊る様子を見た時に私はとても感動しました。その光景は日本の若い人たちが自から伝統文化を継承していることを感じて、来年阿波踊りに参加したくなりました。

現在、学校で自動車専門を勉強していますが、外国人なので授業の内容とか生活習慣の中身が分からない時がありました。しかし、その時に先生や友達が懇切丁寧に教えてくれるので安心してしています。外国に住んでいる感じがだんだんなくなります。徳島に住めば住むほどこの地に愛着が出来ていることに気付き、いつか自転車で徳島中を旅行したいと考えています。



留学生から見た徳島

阿南工業高等専門学校

電気電子工学科 5 年

ボルドバートル フスレント
BOLDBAATAR KHUSLENT

モンゴル

私は 2012 年 4 月 2 日に成田国際空港に到着して日本に来てからもう 3 年間日本に住んでいます。最初 1 年間東京で日本語を勉強して、阿南工業高等専門学校に編入するために徳島にきました。この間いろいろなことがあって、いろいろなことを身につけた 3 年間でした。徳島にきて最初に気になったことは、東京で日本語を勉強している間に学んだ日本語は標準語だったのに、徳島では阿波弁を使い、日常の日本語はとても難しかったです。でも、日常会話の日本語や日本での日常生活、文化などが面白いし、日本人の皆さんがとても優しい人だと考えられました。東京の日本語学校では、日本語を勉強している皆さんが留学生だったから日本人の友達ができる可能性が低かったけれど、阿南高専では皆日本人だから、日本人の友達ができてよかったです。皆優しいので仲良くしやすくて親切です。

阿南高専に来たとき、国際交流室の先生方が優しくていろいろ助けてくれました。もし国際交流室の先生方がいなければ大変困りますし、国際交流室の活動がすごく良くて、いろいろな国と交流できているから、短期留学生がきていろいろ

な国の友達ができて、国際の空気を感じました。今、阿南高専での間を振り返ってみると、皆に心の底から感謝しています。何十年後にも徳島、阿南の皆さんを忘れられません。皆さんいつもありがとうございます。皆さんはいつも元気でいてください。

徳島の印象

徳島大学

総合科学教育部博士前期課程 1 年

オウ ギョウギョク

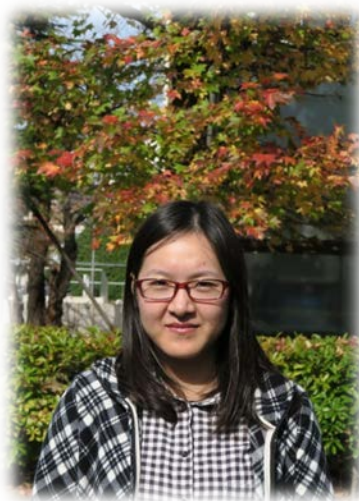
王 曉 玉

中国

中国から来た留学生の王曉玉と申します。現在、徳島大学大学院の一年生です。徳島に来てから、そろそろ一年半になります。

徳島に来る前、一年半ほど福岡にいました。福岡は近代的な街です。大きなショッピングセンターやスーパーマーケットなどが至る所にたくさんあります。「徳島はどんなところですか」と福岡の人に聞くと、「日本で一番田舎」と言われました。でも、私は信じませんでした。日本は先進国なので、どの町も近代的だと思っていたのです。しかし、バスを降りた瞬間、目の中に入った風景に大変驚きました。「嘘でしょう。こんなところがあるの？」徳島へ来てから一週間、「福岡に戻りたい、戻りたい」と友達に言っていました。自分は徳島で3年間生活できるだろうか、と思いました。

時間の流れとともに、私の徳島に対する印象が次第に変わってきました。徳島には大都市が持っていない宝があるからです。例えば、日和佐に行ったら、日本らしい人里、優しい人たち、人々が育った海、こんもりした森、お参りが盛んな薬王寺があります。これが本来の日本だ、と感じました。「日本」という雰囲気や風景が徳島には残っているのです。近代的な建物があまりなく、大都会の騒がしい道路もなく、都市の賑やかな雑音もありません。あるのは、蟬の鳴き声、昼夜を問わずに聞こえる波の音、そして朗らかな笑い声。文化や自然が残る、日本の面影があります。人間と自然が近く、とても親しみを感じることできるころなのです。これが、ちょうどアニメなどを通して世界に伝えられている日本で



はないでしょうか。

祖谷のかずら橋へ行ったときは、夏と秋の変わり目でした。夕陽に照り映える悠々たる川、籐でできた橋、風になびいている様々な色の葉など、まるで絵画の中に出てくるような風景。これは本物なのかと目を疑うような景色でした。そこは、人間と自然が日本の本髄である「和」を余すところなく伝えている場所だったのです。

四国八十八ヶ霊場の霊山寺はとても平和な場所です。人が少なく、自然の風景がそのまま保存されています。ここに来ると、心を穏やかにさせる自然の不思議な力を感じます。俗世間の欲望などは忘れ、心は自然と融合するのです。世の中のこと是一切捨てて、悩みなく、騒ぎたてず、このような穏やかなところで生活するのは最高だろうと思います。

徳島は単なる田舎ではありません。優しい人々が住み、田園風景がある桃源郷と言えるでしょう。多くの人は、町を開発して近代的にしようとします。でも日本には、東京、大阪といった大都市はすでにあります。徳島をそのような大都市にする必要はないのです。日本らしい風景を大事に保存し、人の心を感動させることができるのが、徳島の魅力であり、大都市と競争する力だと思います。

「もう一度福岡に戻りたい？」と自分に問い直してみました。いいえ、私は徳島という「浄土」から離れたくないです。



人のおいがする徳島

徳島大学

先端技術科学教育部博士後期課程 3 年

チヨイ ユンジョン

崔 允 禎

韓国

私は韓国の釜山で生まれ、20 年以上そこに住んでいた。釜山は韓国で 2 番目に大きい都市で、人も建物も車も多いところだ。朝学校に行くときには、人々でパンパンになってすぐでも弾けそうなバスに乗らなければならなかったし、バスを降りてからは目的地に向かって止ま

らず早く歩いていた。実に、都市風景。

そんな私にとって徳島は別世界だった。2007 年 8 月、生まれて初めて行った海外が日本の徳島だった。徳島大学で開催されるサマースクールに参加するためだった。初めて自転車で 50 分も走って、当時ホームステイをしていた北島から大学まで十日間通い、夜には光が消え、テレビでしか見られないような、とても明るくきれいな星が実在することを改めて実感した。徳島は一言で「田舎」だった。忙しく時が流れる現代社会で、徳島だけが置いておかれたように、時間が止まっているように見えた。

でも、私はこの徳島が大好きだ。2007 年のサマースクールがきっかけで、徳島大学で正規の留学生活を始めたころのこと。自転車に乗って橋を渡っていたとき、橋の上で犬の散歩をしている年配の女性を見つけた。そのおばあさんはじっと川のほうを見ているので、私も好奇心から立ち止まってその方角を見た。すると、おばあさんは魚の群れが川を遡っているのが見えると、指をさしながら話しかけてくれた。何ともないことかもしれないが、私はそのとき、ふと心が温まるのを感じた。しばらくおばあさんと話をした。

釜山ではありえないことだ。道を歩く途中で立ち止まることも、知らない人に話しかけることも。豊かな自然に囲まれて生活しているからだろうか、街の人たちの顔からはちょっとした余裕と温和さを感じる。私は子どものときからずっと田舎のおばあちゃんの家、暖かく、懐かしく、行きたくなるところがほしいと憧れていた。徳島が私にそのような場所になってくれた。暖かく人のにおいがするこの街、徳島が私は好きだ。